

作成者：若原きなり

作成日：2025年2月8日

1月になるとオハイオの寒さも一段と厳しくなります。気温が-20度を下回り、寒さのために休校になる日もありました。この記事を書いている日は福井でかなり雪が降ったようですが、こちらでは足首以上の雪が積もることはほとんどありません。また、新しい学期の生活に慣れてきました。最後の学期を充実させられるよう努めます。

【カリフォルニア旅行】

冬休みに、日本から来てくれた友人とカリフォルニアに行きました。サンフランシスコ、ヨセミテ国立公園、ロサンゼルスと、カリフォルニアを満喫できました。カリフォルニアの気候はとても暖かく、日中は上着がいらないほどでした。アメリカは車社会で基本どこへ行くにも車が必須ですが、カリフォルニアは国立公園を含め、車なしの旅行者に比較的優しいと感じました。



サンフランシスコは高層ビルが並ぶ都会ですが、道を行き交う人の数が少なく、ニューヨークとのギャップを感じました。また、港町として有名で、シーフードを楽しむことができ良かったです。日本のスーパーで魚を見かけないことはあり得ませんが、オハイオは海がないためスーパーで生の魚を見ることはほとんどなく、日常的にシーフードを食べる機会は少ないです。

アメリカにいる間に国立公園を訪れることが目標だったので、ヨセミテ国立公園に行くことができて良かったです。日本とは異なる壮大な山々の中を散策でき、本当に圧巻でした。

オハイオには山がないため、アメリカの地域ごとの多様性も感じました。ヨセミテ国立公園を訪れたことで、他の国立公園にも行ってみたいという気持ちがさらに高まりました。

ロサンゼルスでは、念願のアメリカ・ディズニーを訪れることができました。長年の夢が一つ叶い、嬉しかったです。また、同時期にロサンゼルスで山火事が発生しており、飛行機からは火事が直接見えました。写真の右下で火事が発生しており、煙が空全体を覆っていました。毎日雲ひとつ



ない晴天で非常に乾燥しており、天候による消火の難しさを実感しました。この記事を書いている今も鎮火は終わっていないとのことで、一刻も早い鎮火を祈っています。

【春学期の授業】

今学期は、心理学、教育学、多様性、防御術、ライティング、ダンス、ゲンキキッズ、文化紹介の授業を履修しています。前期に比べてリスニング能力がかなり向上したと感じており、それぞれの授業でさらに深い理解や発言ができるよう心がけています。ここでは、前期とは異なる授業について説明します。

・心理学 (Abnormal Psychology)

秋学期はGeneral Psychologyで心理学の基礎を学びました。今期は精神疾患に焦点を当てた心理学を履修しています。臨床心理士の先生が実際に体験した患者の症例を挙げながら、生徒同士で意見を出し合って考察する授業で、とても興味深いです。心理学の視点と医学の視点には似ている部分も異なる部分もあり、心理学の視点から疾患を学べることは大きな価値があると思っています。

・教育学 (Introduction to Special Education)

この授業では障がいのある子どもたちの教育について学んでいます。私は小児科に興味があるため、多くの学びがある授業です。教授はこの分野で大学院を卒業していますが、その後生まれた自身の障がいのあるお子さんから、学校で学んだことの何倍も多くのことを学んだと語っており、自身の体験を基に授業が進んでいきます。心理学でも述べましたが、医学

とは異なる教育学や親の視点で疾患について学ぶことができ、貴重な経験だと感じています。

- ・多様性 (Diversity in America)

この授業では様々な多様性について考えていきます。ライティングの授業と同じ教授で、日本人留学生が全員お世話になる明るい先生です。先生は日本に7年間住んでいた経験があります。もちろん文化の多様性は重要なテーマであり、私はこの授業で唯一の外国人留学生であるため、先生から意見を求められることが多いです。自分では考えたことのない視点から日本について考える機会が多く、新たな発見もあります。同時に、言いたいことが100%英語で咄嗟に出てこず、悔しい思いをすることもあります。積極的に発言できるよう努めます。

本報告書についてご質問、お問い合わせ等ございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡 ください。 wakaharak@findlay.edu